

情報社会の法

・本時の説明

・マンダラート

質問づくり

• YNチャート

ロジックづくり

• 相互チェック

正誤確認

ロジックチェック

ブラッシュアップ

・ 成果物の完成

ファイルの提出

● 振り返り

・リフレクション

HomeLearning

個人

マンダラート

マンダラートを完成しよう!

- 真ん中にあるキーワードから連想する問題を考えて、全てのマスを埋めよう!
- YESかNOで答えられる問題にしよう!
- 答えが、YESのセルの文字を赤にしよう!
- 問題文の?のあとに、問題を考えた人の出席番号を書こう!

知的 財産権	著作権	情報社会の 個人の責任		情報社会に 関する法律	
			·		

「各グループ」チャネル→「ファイル」タブ→ →「組班_マンダラート_チーム」ファイルを開く (デスクトップアプリで開くと作業しやすい)

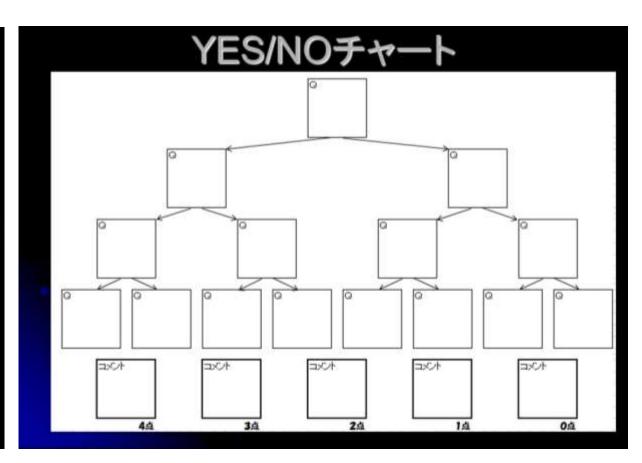
YNチャート

YES/NOチャート

口に問題を書き、YESとNOを選択してできるテストを完成させよう!

【条件】

- 口には、マンダラートで書いた質問を書く。
- "Yes"の→を赤にする。
- 正解した場合には、違う中央のキーワードのマンダラートから出た問題を答えるように組む。間違えた場合は、同じ中央のキーワードのマンダラートから出た問題に答えるように組む。
- 正解すると、1つのQにつき1点獲得
- □コメントの枠の下の点数に当てはまるように、最後のQ□から→をひく。
- ロコメント枠には、全部を選んだ結果を踏まえた、 テスト結果のコメントを書く。
- 選んだ先のマンダラートごとに、色を分けてセルを塗る 知的財産権→青、著作権→黄、 個人情報→緑、情報社会に関する法律→紫
- Y/Nチャートに選んだ問題は、マンダラートのセルにも色を付ける

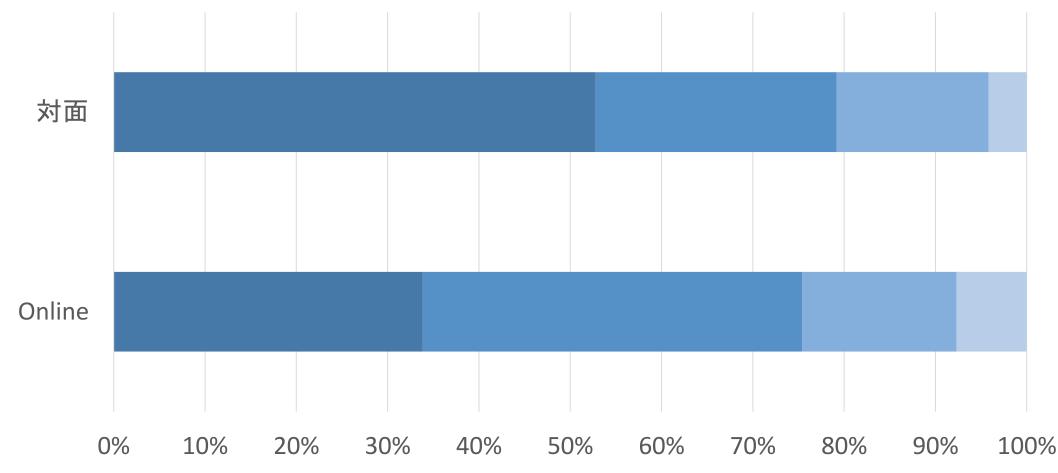


相互チェック

YES/NOチャート 相互チェック

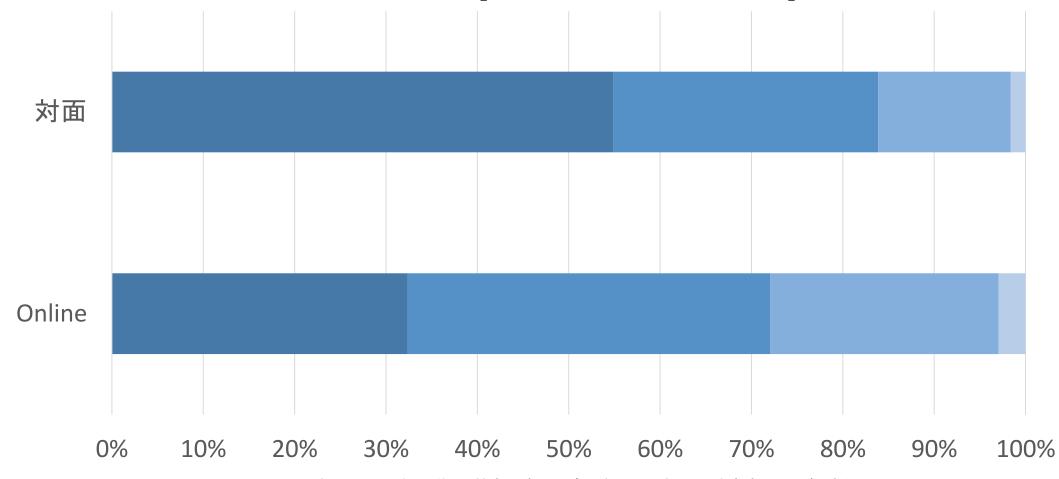
- Y/Nチャートの提出
 - ●「00_クラス全体」チャネルの 「ファイル」→「情報社会の法」→「YNチャート1回目」に提出
 - ファイルをダウンロードしてからアップロードする
- チェックシートの記入
 - 「00_クラス全体」チャネルの「ファイル」→「情報社会の法」→「チェックシート」の 自分の班の番号のファイルに入力
 - チェックする班の提出されたYNチャートのファイルを開いて確認する。
 - チェックする班:「自分の班の数+1」班 なお、10班は1班を担当する。

リフレクション (働くためのツール)



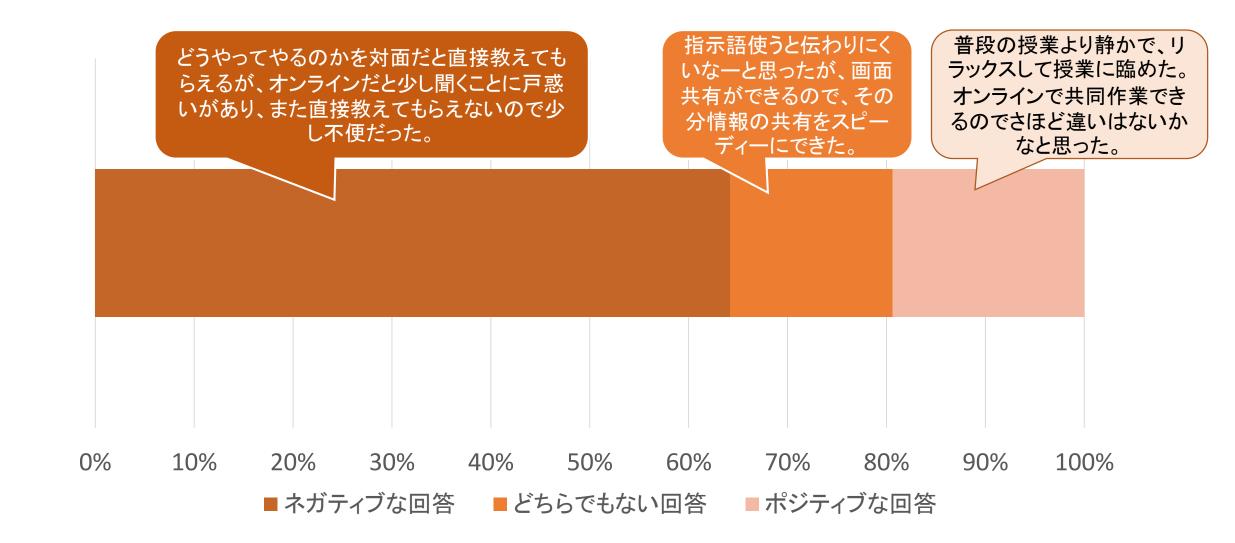
- ■他者からの情報のクロスチェックにより、情報の信頼性を確かめ、質問を改良することができた
- ■他者からの情報のクロスチェックにより、情報の信頼性を確かめることができた
- ■情報の信頼性を確かめることができた
- ■情報の信頼性を確かめることがなかった

リフレクション (思考の方法)



- ■Y/Nチャートをルールに従って作り、他者の意見や考えを聞いてまとめ、改良することができた
- ■他者の意見や考えを聞き、Y/Nチャートをルールに従って作ることができた
- ■Y/Nチャートをルールに従って作ることができた
- ■Y/Nチャートをルールに従って作ることができなかった

オンラインと対面の違い



オンラインでの困ったことを解決するため のアイデア

